

受験番号	
------	--

日本赤十字秋田看護大学大学院
看護学研究科看護学専攻修士課程

令和7年度 Ⅲ期 入学試験問題及び解答用紙

〔科目試験〕

健康療養生活支援看護学分野（地域共生看護学領域）

【注意事項】

- 1 制限時間は60分です。
- 2 試験問題及び解答用紙は、表紙を含めて全部で3枚あります。
- 3 受験番号は、この表紙に記載してください。
- 4 質問があるときは、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験問題及び解答用紙を持ち帰ってはいけません。

問 1 : 次の () にあてはまる語句・数字を書きなさい。

1. 行動変容ステージモデルとは、1980 年代前半に禁煙の研究から導かれたモデルで、人が (行動または生活習慣) を変える場合は、「無関心期」→「(関心期)」→「準備期」→「実行期」→「(維持期)」の 5 つのステージを通ると考える。行動変容のステージをひとつでも先に進むためには、その人が今どのステージにいるかを把握し、それぞれのステージに合わせた働きかけが必要となる。
2. 公衆衛生行政は、日本国憲法第 (25) 条の規定に基づいて、すべての国民の (健康) の保持増進を図るために、国や(地方自治体)によって行われている。
3. 地域保健法に基づく保健所の業務について、保健所が実施する (事業) は第 6 条、保健所の (判断) で実施が可能な事業については第 7 条、そして、(市町村) の求めに応じ実施可能な事業については第 8 条に定めている。
4. 厚生労働省は、難病の方を対象に就労の支援を行っている。ハローワークに配置されている「難病患者就労サポーター」は、(難病相談支援) センターと連携しながら就労を希望する方に対して、症状の特性を踏まえたきめ細かな就労支援や、在職中に難病を発症した方の雇用継続などの (総合的) 支援を行っている。
5. 地域診断により、客観的なデータに基づいて地域の課題を把握することは、地域の事業の見直しや新たな事業の予算化のための(根拠)となる。また、地域診断により保健・医療・介護・福祉に関わる様々な課題が明らかになれば、分野横断的な(アプローチ)による地域包括ケアシステムの推進につながると考えられます。
6. ソーシャル・キャピタルとは、アメリカの政治学者、ロバート・パットナムの定義によると人々の協調行動を (活発) にすることにより、社会の効率性を高めることができる、「(信頼)」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴を指す。

問 2 : 保健所における健康危機管理の実際の業務は、対策の内容により、「健康危機の発生の未然防止」、「健康危機発生時に備えた準備」、「健康危機への対応」、「健康危機による被害の回復」に分けられる。その業務の主な対策について説明しなさい。

業 務	主 な 対 策 の 内 容
健康危機発生の未然防止	管理基準の設定、監視業務等、健康危機の発生を未然に防止するための対策である。 対応策：地域の状況を十分に把握し、保健所管轄区域において発生が予想される健康被害に応じた対策を講じる。
健康危機発生時に備えた準備	健康危機がその時々状況によって急速な進展をみることがあり、保健所が迅速かつ効果的な対応を行うために、健康危機の発生に備えて事前に講じられる種々の対策である。 対応策：手引書の整備、健康危機発生時を想定した組織及び体制の確保、関係機関との連携の確保、人材の確保、訓練等による人材の資質の向上、施設、設備及び物資の確保、知見の集積等が含まれる。
健康危機への対応	健康危機の発生時において、人的及び物的な被害の拡大を防止するために行う業務のことである。 対応策：対応体制の確定、情報の収集及び管理、被害者への保健医療サービスの提供の調整、防疫活動、住民に対する情報の提供等の被害の拡大防止のための普及啓発活動等のことである。また、被害発生地域以外からの救援を要請することも含まれる。
健康危機による被害の回復	健康危機による被害の発生後に、住民の混乱している社会生活を健康危機発生前の状況に復旧させるための業務である。 対応策：飲料水、食品等の安全確認、被害者の心のケア等が含まれる。健康危機が沈静化した時点で、健康危機管理に関する事後評価を行うことも必要である。

問 3 : 以下の問いに答えなさい。

- 1) 結核患者に対する直接服薬確認療法 (Directly Observed Treatment Short Course 以下「DOTS」と記載する) は、WHO が提唱している結核抑圧のための戦略である。直接服薬確認療法とはどのような治療方法か書きなさい。

喀痰塗抹陽性患者が適切な容量の薬を服用するところを医療従事者が目の前で確認し、治療中断、結核菌の耐性化を防ぎ、確実に治癒するまでの経過を観察する治療方法をいう。

- 2) 以下の文を読み、問に答えなさい。

A さん (40 歳、男性) は社員数 80 名の会社で経理事務を担当している。発熱と咳が続いたため病院を受診した。画像診断で空洞を伴う肺病変があり、喀痰塗抹検査陽性、喀痰 PCR 検査陽性となったことから肺結核と診断され、結核病床のある病院に入院した。

抗結核薬による治療開始後 6 週間で喀痰中の結核菌は陰性化したため、A さんは退院し、外来治療を継続することになった。薬剤感受性検査では 1 剤に耐性がみられたが、この薬剤は A さんの治療には使用されていない。

- (1) A さんが肺結核と診断された時点で感染性の強さを示唆したのはどの検査結果によるものか記載しなさい。

肺結核の感染性の高さは、喀痰検査と胸部 X 線検査により評価される。喀痰検査では、喀痰塗抹陽性例は陰性例 (培養陽性例) に比べて感染性が高いとされる。胸部 X 線検査では、空洞性病変を認める肺結核患者は相対的に感染性が高いとされる。

- (2) A さんの入院中に保健所が実施した調査の結果、A さんの勤務先の濃厚接触者を対象に接触者健康診断を実施することになった。現時点で呼吸器症状がある者はいない。勤務先での接触者健診で使用される検査方法を感染確認および発病確認に分けて記載しなさい。

感染確認 : インターフェロンγ遊離試験 (IGRA)

発病の確認 : 胸部エックス線検査

- (3) 接触者健康診断の結果、肺結核の発病者は発見されなかった。しかし、対象者 15 名中 3 名が潜在性結核感染症と診断され、治療を開始することになった。潜在性結核感染症（LTBI）の治療は、抗結核薬内服中は地域 DOTS の対象となる。あなたは、治療の対象となる方に、その治療の必要性および地域 DOTS の対象となることについて、どのように説明しますか。

○潜在性結核感染症（LTBI）の治療を必要とする理由が記載されている。

○抗結核薬内服中は地域 DOTS の対象となることについて、看護職としてあなたはどのように説明するか記載されている。